



上妻小学校だより

けいし

No. 2

令和7年5月2日

文責 校長

本年度の重点目標

「ちがいを認め合い、共に学ぶ子どもの育成」

授業参観、PTA総会、学級懇談会へのご参加、 ありがとうございました。

4月26日（土）の第1回授業参観・学級懇談会には、多くの保護者の皆様に参加していただき、ありがとうございました。子どもたちは、たくさんのご家族の方々に見守られ、本当に嬉しそうに学習をしていたようでした。1年生にとっては初めての授業参観とあって、朝からウキウキ、ドキドキしていた様子でしたが、落ち着いて学習をしている姿に感心しました。

PTA総会も多数ご参会していただきました。議長をしていただきました（　）さん、ありがとうございました。おかげさまで議事がスムーズに進行しました。

総会を経て、新PTA会長の（　）さんを中心に本格的に本年度のPTA活動がスタートしました。1年間、どうぞよろしくお願ひ致します。また、昨年度、本校の教育活動の充実発展のためにご尽力いただきました前PTA会長（　）さんを初め、旧役員、理事の皆様、学級委員の皆様、本当にありがとうございました。

たてわり班1年生を迎える会・歓迎遠足

4月18日（金）に「たてわり班1年生を迎える会」と「歓迎遠足」を行いました。

「1年生を迎える会」では、たてわり班ごとに、「自己紹介」や「いす取りゲーム」「○×クイズ」などをし、楽しく交流することができました。会の準備や進行も6年生を中心に行なわれ、スムーズに進むことができました。6年生が手をつないで1年生を会場に案内する姿や、1年生に目線を合わせて優しく声をかけている姿を見て、とても微笑ましく思いました。1年生の子どもたちも、優しい上級生に囲まれて、とても嬉しそうでした。



「歓迎遠足」は、あいにくの雨で、校内遠足としました。おうちの皆様には、朝早くからお弁当を作っていただき、ありがとうございました。とてもおいしそうでした。たてわり班でお弁当を食べ、その後楽しく遊びました。良い思い出となつたことでしょう。



本年度も、たてわり集会やたてわり掃除などを取り入れ、同学年による「横のつながり」だけでなく、「縦のつながり」も大切にした活動をたくさん仕組んでいき、より良い人間関係づくりをしたいと考えています。

交通教室1・2年

4月16日（水）に1・2年生の交通教室を行いました。

交通教室は、交通事故をなくし、子どもたちの命を守るために、毎年行っています。本年度も、毎朝見守りをしていただいている地域の方にご協力をいただき、学校前の道路を使って行いました。横断歩道をわたるときは、「右・左」をよく見てわたることや、車を止めていたドライバーの方にお礼を言うことなどしっかりと学ぶことができました。子どもたちには、このような学習をしているときだけでなく、日常的に今回学んだことを生かしてほしいと思っています。

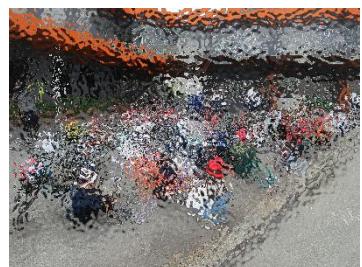


**3・4・5・6年生 交通教室
八女中央自動車学校の皆様、交通安全協会の皆様
ありがとうございました。**

3年生は本年度も八女中央自動車学校の先生方のご協力を得て、交通教室（自転車の乗り方及び横

断歩道のわたり方）を行っていただきました。八女中央自動車学校では、午前9時頃から10時半過ぎまで、上妻小のために、貸し切りにして指導をしていただきました。自転車の点検の仕方も教えていただき、ちょっとした修理をしていただいた子どももいました。本当にありがとうございましたと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

交通教室では、初めて自転車に乗る子ども、広場などで練習をしてすでに乗れるようになっている子どもというように、子ども達の自転車に対する経験値は様々



でしたが、全員が正しい自転車の乗り方について興味・関心を持って参加できるような工夫がされていました。3年生はこの交通教室を経て、校区内において自転車で移動することができます。ぜひ、ここで学んだことを忘れず、安全に気をつけて自転車に乗ってほしいと思います。

4・5・6年は4月21日（月）に本校で交通教室を行いました。八女警察署の交通課の方や交通安全協会の皆様のご協力をいただき、行うことができました。自分の命は自分で守るという気持ちで、交通ルールを守って生活をしてほしいと思います。

避難訓練（火災）

4月16日（水）に避難訓練を行いました。八女消防署の方に避難の仕方を教えていただきました。何のために避難訓練を行うのかという避難訓練の目的や、正しい避難の仕方について教えていただきました。また、代表児童と職員を対象に消火器による消火訓練も行っていただきました。子どもたちは最後まで真剣に話を聞くことができました。避難の際に使う合い言葉「おかしも（おはしも）おさない・かけない（はしない）・しゃべらない・もどらない」がしっかりと心に残ったと思います。避難訓練は1回だけでなく、様々な場合を想定して、それに対応できるよう今後も繰り返し行っていきたいと思います。

